第 27 回　日本禁煙推進医師連盟学術総会

2020 年東京オリンピック喫煙対策推進イベント
「あなたに伝えたい 世界水準のオリンピック喫煙対策」～東京都医師会の挑戦～
開催までの道のり

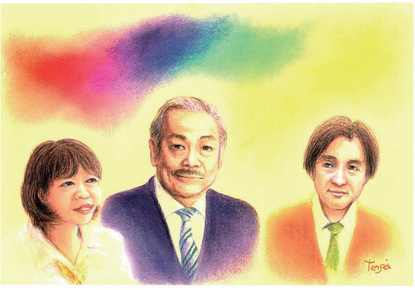
日 時：平成 30 年 2 月 18 日（日）
会 場：横浜市開港記念会館　1 階 1 号室
演 者：政令市浜松の健康政策を支援する会　代表理事・加藤一晴

はじめに

東京都が「受動喫煙防止条例」の検討したのは 2012 年だったが、オリンピック開催の要件の一つである「受動喫煙防止策が無い」のは致命的だった。2016 年オリンピックはブラジルのリオで開催されたが、その間ブラジルは国を挙げた喫煙規制を敷いた。WHO（世界保険機関）が管轄するたばこ規制枠組み条約（ＦＣＴＣ）があり、04/2/9 に署名し 05/2/27 発効しているが、日本は 19 番目に批准している。

条約発効後 5 年で、受動喫煙防止の法的整備が必要（第 8 章）とされ、WHOとＩＯＣ（国際オリンピック委員会）は 08 年中国・北京、10 年カナダ・バンクーバー、12 年英国・ロンドン、14 年ロシア・ソチ、16 年ブラジル・リオと「タバコのないオリンピック」を開催してきた。

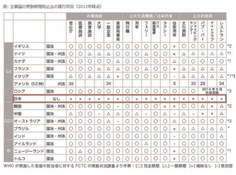
2020 年オリンピック開催を予定しているわが国ではあるが、WHOからは「世界最低水準の喫煙対策」と指摘されている。現状では対策が進まず、塩崎元厚生労働大臣の後に、大臣に就任した加藤勝信代議士は、自民党重鎮たちに配慮した厚生労働省（案）を提示し、国民のみならず海外からの参加国を落胆させた。



目的
- ★2020 年東京オリンピック禁煙化
- ★国内開催の他の競技場へ情報提供し機運を高める
- ★東京都医師会の意欲的なスタンスを知らしめる

これらは advocacy と称され、社会問題に対処するために政府や自治体及びそれに準する 機関に影響をもたらし、公共政策の形成及び変容を促すことを目的とした活動で、我が国においても WHO&IOC の目指す「タバコのない社会」を実現する。

❶開催地喫煙対策の現状（2016）



開催年	開催都市	根拠（制定年）	罰則
2004	アテネ	法律（2000）	○
2006	トリノ	法律（2005）	○
2008	北京（夏季）	市条例（2008）	○
2010	バンクーバー	州法（2008）	○
2012	ロンドン	法律（2006）	○
2014	ソチ	法律（2013）	○
2016	リオデジャネイロ	法律（2009）	○
2018	平昌	法律（2015）	○
2020	東京	なし	–
2022	北京（冬季）	市条例（2015）	○

❷東京都医師会へ講演依頼

３名に出演要請し講師として招聘
総論：尾崎治夫先生（東京都医師会長）
行政：笹井敬子先生（東京都保健福祉局・技監）
各論：村松弘康先生（東京都医師会タバコ対策委員長

更にシンポジウム座長として、下記の先生に依頼
加治正行先生（静岡市保健所長）
大和　浩先生（産業医科大学　教授）

（広報）
★基幹病院（浜松医科大学病院・浜松赤十字病院・遠州病院・浜松労災病院・浜松医療センター・浜松北病院・すずかけセントラル病院・浜松南病院・松田病院・西山病院・湖東病院・三方原病院）へのポスター掲示
★静岡県庁　県内 9 か所の保健所 / 健康福祉センターへ情報提供
★浜松市行政への情報提供（7 区役所を含む）
★浜松市内 22 か所の図書館へのチラシ配布
★浜松市消防局へのポスター掲示
★静岡県医師会報（10 月号・11 月号に掲載）
★広域自治体・基礎自治体・マスコミへの後援取得
★製薬会社内へのポスター掲示
★谷島屋書店・ドラッグストアでのポスター掲示・FM ハローでの放送

（後援取得）
静岡県・浜松市・静岡県医師会・磐周医師会・浜松市浜北医師会・引佐郡医師会
浜名医師会・政令市浜松医師会・静岡県歯科医師会・静岡県薬剤師会・浜松商工会議所
中日新聞東海本社・SBS 静岡放送 / 静岡新聞

会場　浜松グランドホテル

中日新聞 9/27

静岡新聞 11/7

ポスター制作

❸浜松市マスコミ各社の温度差

	事前情報提供	記者会見	当日取材	後援
NHK	○	×	×	なし
中日新聞	○	○	×	○
静岡新聞	○	○	×	○
朝日新聞	○	×	×	なし
毎日新聞	○	×	×	なし
読売新聞	○	×	×	なし

❹送付状送り先

浜松市議会議員　ライオンズクラブ　ロータリークラブ

自由民主党浜松・創造浜松・市民クラブ
公明党・日本共産党浜松市議団・浜松市政向上委員会
市民サポート浜松

浜松ロータリークラブ・浜松中ロータリークラブ・浜松南ロータリークラブ
パワー浜松ロータリークラブ・浜松ハーモニーロータリークラブ
浜松東ロータリークラブ・浜名湖ロータリークラブ
浜北ロータリークラブ・浜松西ロータリークラブ・浜松ライオンズクラブ
浜松南ライオンズクラブ・浜松ライオンズクラブ・浜松ひかりライオンズクラブ

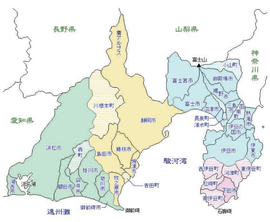
自治体

湖西市
浜松市
磐田市
★袋井市
掛川市
島田市
牧之原市
菊川市
御前崎市
藤枝市
焼津市

当日参加：湖西市・浜松市・磐田市・袋井市・島田市・伊豆市・伊豆の国市

保健所・健康福祉センター

静岡市保健所
浜松市保健所



御殿場健康福祉センター
富士健康福祉センター
賀茂健康福祉センター
熱海健康福祉センター
東部健康福祉センター
中部健康福祉センター
西部健康福祉センター

❺講演～シンポジウム

Session1
東京都医師会　会長
尾﨑治夫 先生

Session2
東京都健康福祉局・技監
笹井敬子 先生
屋内の喫煙規制は飲食店 30 ㎡は死守したい！

Session3
東京都医師会タバコ対策委員会　会長
村松弘康 先生
オリンピック開催を機会に喫煙率を下げ
建康社会に向かわなければならない

浜松市長
鈴木康友 氏
浜松市民喫煙率は 10.2%！
オリンピック開催は良いキッカケになる。

衆議院議員
城内みのる 氏
オリンピック開催までに罰則付きの法律が
整備されなければいけない

産業医科大学　教授
大和浩 先生
テーマ　加熱式タバコの現状
オリンピック開催自治体も喫煙対策を、進める必要がある

十文字学園女子大学
健康管理センター長　教授
齋藤麗子 先生

浜松市議会議員
稲葉大輔 氏

❻考察

タバコ問題の最大の障壁は、国民の無関心である
タバコ問題の解決は、学術的な解明と advocacy の補完的な解決が欠かせない
他の国々では topdown が効果的なのに、国策で行っているわが国は戦術・戦略を間違えると bottomup も上手く行かない
世界中が注目するオリンピック開催は、最大のキッカケになる
動けない医師会は、各自治体行政に協力要請すると効果的である
「政治家も受動喫煙から守る会」の発足も必要ではないか

❼結語

衆議院議員・首長（浜松・湖西）2 名、市議 1 名、健康増進課スタッフ 10 名に来ていただき東京都医師会の禁煙対策を広めることができた
尾崎会長・笹井技監・村松会長講演は素晴らしいものだった
改めて事前周知の困難さが見え隠れしたが、オリンピック開催は最大の後押し
基礎自治体への招聘は、所属医師会を通したものにすべきだった

これらは advocacy と称され、社会問題に対処するために政府や自治体及びそれに準ずる 機関に影響をもたらし、公共政策の形成及び変容を促すことを目的とした活動こそ大切である